

# blanClass

2016 6-7 Live Art on Every Saturday and more



## art-life balance

芸術と、社会、歴史、政治を結びつけて活動していくことは、とても難しい。それは戦前戦中の芸術家たちの動向を見てもわかることだが、個人からの真摯な態度ほど、権威からも市民からもなぜか忌み嫌われるところがある。発信者である個人もまた、自身の中に保守や幼稚さを抱えていて、しっかりとした態度に踏み切れないのかもしれない。そんな態度は、大勢を占めるムードに簡単に回収されてしまい、大抵はへこたれてしまう。

その上「アート」なるものが、とても曖昧な概念なので、世の中に厳然と存在している問題を触れようとしても、今度はその曖昧な「アート」のなかに回収され、評価のなかに埋没してしまうから、とうとう届くべきところに届かない。そればかりか、「アート」は、それを好む人にとっても、好まぬ人にとっても、特別なものとして祭り上げられてしまいがちだから、なおのことたちが悪い。大昔であれば、そういう高みがあってこそ、権威とも対等の位置から物申すことが可能だったのかもしれないが、そういう古い図式を反省もせずに引き継いでいることこそが保守の姿勢に違いない。



芸術と、社会、歴史、政治を結びつけるといっても、絵に描いたようなステレオタイプのポリティカルアートでは困るし、「リレーショナルな感じ」みたいに流行ってしまうものもどうかと思う。「アート」の立ち位置が安定していると思いついて、自身の領域への批判が足りなければ、なにを問題にしたところで、結局は「アート」を装うモチーフにしか見えない。個々の問題を自分が拠点にしている専門から眺めた上で、切り分けてしまったら、結局はゲームに偏ってしまうだろう。一番切実な問題とは、簡単には分けることができないような事柄のはずなのだ。

東京都現代美術館の「MOT アニュアル 2016 キセイノセイキ」を見て、またその展覧会をめぐって物議を醸していることについて、改めて「アート」の立ち位置が悩ましいものに思えてきたので、ついこんなことを書いてしまった。

話が横道に反れるようだが、最近ちょっと気が利いている大学生なら、自分の将来の「work-life balance」を真剣に考えている。だいたい前から、海外との比較があつての発言なのだろう、東京で活動しているアーティストたちが「この国で仕事や生活をしていると、なんでこんなにせわしなくなるんだ」と嘆くのをよく耳にする。ちょっとでも気を抜くと、雑務に追い立てられるようになってしまうというのだ。お金や生活のためだけに生きるの、まっぴらごめんだけれど、アートのためだけに生きるぐらいなら死んだ方がましというものだ。

かといって、「アート」を投げ出してしまったら元も子もない気がするの、で、「アート」を拠点に考えるのだけれど、誰も「アート」の上に立っているわけでもないことを改めて確認したい。タイトルには仮に「art-life balance」としてみたが、「work-life balance」が示す意味以上に、いろいろな難問を地続きなこととして、生きていく方法を考えていくべきだと思うのだ。

6月、7月には、その「キセイノセイキ」にも出品しているアーティストから藤井光、橋本聡が出演してくれることになっている。それほど意図があるわけでもないが、モヤモヤしているだけでもいけないので、もう少し先に歩みを進めてみたい。

小林晴夫

### ブランクラス Live Art & Archive

〒232-0006 横浜市内南区南太田 4-12-16-2F info@blanclass.com http://blanclass.com Twitter / facebook : blanclass  
スタッフ：小林晴夫 (ディレクター) 安部祥子 (+product) 野本直輝 (ウラブラ) 宮澤 馨 (ウラブラ)

## 2016 6

mon.	tue.	wed.	thu.	fri.	sat.	sun.
		1	2	3	4	5
					奥 誠之 企画 野本直輝 op. 18:30 / st. 19:30 ¥1,500 (ワンドリンク)	
6	7	8	9	10 ★月イチ	11	12
				杉田 敦 nano school #40 st. 18:30 ¥1,200 / 学¥1,000 (要予約)	藤井 光 集合場所 / 時間 / 料金 未定	
13	14	15	16	17	18	19
					CAMP 隔月 CAMP テーマ・料金・時間 未定	
20	21	22	23	24	25	26
					高橋耕平 op. 18:00 / st. 19:00 ¥1,500 (ワンドリンク)	
27	28	29	30 ★月イチ			
			CAMP 先月の話 2016.05 ゲスト：栗田大輔 st. 20:00 予約 ¥1,000 当日 ¥1,200			

## 2016 7

mon.	tue.	wed.	thu.	fri.	sat.	sun.
				1	2	3
					渡辺美帆子 コーディネーター 河口 遼 op. 19:00 / st. 19:30 ¥1,600 (ワンドリンク)	
4	5	6	7	8 ★月イチ	9	10
				杉田 敦 nano school #41 st. 18:30 ¥1,200 / 学¥1,000 (要予約)	百瀬 文 施術者：藤田純子 op. 18:30 / st. 19:00 ¥2,000 (ドリンク別) 定員15名 (要予約)	
11	12	13	14	15	16	17
					うつくしい雪 ワークショップ1      ワークショップ2 18:30-20:30      18:30-20:30 1回 ¥1,500 / 2回通 ¥2,500 (要予約)	
18 海の日	19	20	21	22	23	24
公開制作 13:00 - ¥500 公開種古+パーティー 18:00-20:00 ¥1,800 (ワンドリンク)					橋本 聡 op. 18:30 / st. 19:30 ¥1,600 (ワンドリンク)	
25	26	27	28 ★月イチ	29	30	31
			CAMP 先月の話 2016.06 ゲスト：栗田大輔 st. 20:00 予約 ¥1,000 当日 ¥1,200		南雲由子 野本翔平 清野和彦 op. 18:30 / st. 19:30 ¥1,200 (ワンドリンク)	

### blanClass スチューデントアートマラソン vol.12 参加者募集

今年の春に名前を改めリニューアルしたスチューデントアートマラソン。11月26日(土)に開催する vol.12 の参加者を募集します。現役学生であれば、専攻も問いませんが、マラソン形式なので、各組 10~20 分程度の発表時間を考えて、作品や行為のプランを練ってください。定員に達した場合は、次回のスチューデントアートマラソン (開催日未定) へ振り分けることも考えています。学生のみさん奮ってご応募ください。

日程：2016年11月26日(土) 13:00~20:00 (予定) 会場：blanClass 定員：10組

応募概要：必ずしもパフォーマンスである必要はなく、作品のフォーマットは自由ですが、各組 10~20 分程度の発表形式です。それを踏まえてプランを出してください。また必要な機材は基本持ち込み、交通費・制作費は自己負担をお願いします。

応募資格：個人でもグループでも可。現役の大学、大学院、専門学校などに通う現役学生 (専攻は問いません)。

応募方法：blanClass の公式サイトから応募用紙をダウンロード、必要事項を記入の上、メールまたは郵送にて企画プランを提出してください。書類の形式、会場の使い方、注意事項など詳しい内容も公式サイトをご覧ください。

応募締切：2016年9月25日(日) 必着 (9月末に参加者発表予定)

